

え？
これもダメ

うっかり
聞いてない？

面接NG質問 5 選チェックシート

- ・ 面接担当になってから、自己流で面接をしている
- ・ 面接の仕方について、特に勉強したことはない
- ・ いつも、なごやかに面接を終わらせているので問題はないと思っている

こんなご担当様、実は**要注意**です！令和の今、面接で聞いてはいけない質問について、求職者も知識をもっています。リラックスした雰囲気です面接を進めるために聞いた質問が、実は**NG質問**にあたる内容で、その場では何もなくても、後日、SNSに「あの会社であんなことを聞かれた」なんて書き込まれてしまうリスクもあります。

前提として、厚生労働省では、採用選考は「応募者の基本的人権を尊重すること」「応募者の適性・能力に基づいた基準により行うこと」と定めています。これにより「応募者本人に責任のない事項」「本来、自由であるべき事項」について、面接で聞くことは、NGとされているのです。

では、どんな質問が、NG質問にあたるのかをチェックしておき、次の面接から**注意すべきポイント**として覚えておきましょう。

代表的な「面接NG質問」

- ① 本籍に関する質問
例：ご両親は、〇〇のご出身ですか？
- ② 住居、その環境に関する質問
例：あなたの住んでいる〇〇は、どんな感じの街ですか？
- ③ 家族構成、家族の職業・地位・収入に関する質問
例：ご実家は、どんなご商売をされているのですか？
- ④ 資産に関する質問
例：お住まいは、持ち家ですか？
- ⑤ 思想・信条、宗教、尊敬する人物、支持政党に関する質問
例：尊敬する人物を教えてください

コチラもご参照ください>>[「大阪労働局：就職差別につながるおそれのある不適切な質問の例」](#)